

基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同  
自然史・古生物学分科会（第25期第3回）  
議事要旨

日時：令和4年3月15日（月）午後1時～午後2時40分

場所：オンラインビデオ会議

出席者（五十音順、敬称略）：上松佐知子、大路樹生、川井浩史、岸本建雄、窪川かおる、  
西弘嗣、西田治文、深津武馬、堀利栄、松浦啓一、村上哲明

欠席者：白山義久

記録：上松

## 議題

### 1. 前回議事録の確認

### 2. 自然史財提案10年シンポジウム（仮）について

自然史財、自然史博物館の在り方、学芸員問題、博物館法などについて幅広く討論する公開シンポジウムの開催案について議論した。これに先立ち、大路委員より博物館法改定についての現状説明があり、意見交換を行った。これを受けて、公開シンポジウムの方向性を以下のように決定した。

表題「博物館法制度改定にあたって 自然史博物館の現状と将来（仮）」

内容：博物館法改定を中心に博物館に関する様々なテーマについて現状の説明、意見交換、議論を行う。文化庁、大学博物館、動物園、水族館、植物園、自然史博物館等の関係者に依頼して講演者を決める。

時期：7～9月

### 3. 国立沖縄自然史博物館設立運動の経過報告

国立沖縄自然史博物館設立に関する2021年後半以降の活動と現状について、岸本委員より説明があった。

### 4. IYBSSD2022との連携について

「持続可能な発展のための国際基礎科学年（IYBSSD2022）」（日本学術会議からの2月9日付電子メール参照）への協力依頼について、西田委員長から説明があった。

### 5. その他

(1) マスタープランの後継計画については特に進展なし。

(2) 公開シンポジウムの準備情報は随時周知していく。